

平成 24 年 7 月 12 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブマネージャー 橘高 公久
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア イクシスLNGプロジェクト
トータル社への権益の一部追加譲渡について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のインペックス・イクシス社など豪州グループ会社を通じてトータルE&Pイクシス社（以下、トータル社）およびプロジェクトパートナーとともにオーストラリア連邦西豪州沖合WA-50-L鉱区およびWA-51-L鉱区に位置するイクシスガス・コンデンセート田の開発プロジェクトであるイクシスLNGプロジェクト（以下、本プロジェクト）を進めています。このたび、本プロジェクトのパートナーであるトータル社との間で、当社グループ会社が保有する本プロジェクト権益^(*)の一部（6%）をトータル社グループ会社に追加的に譲渡することについて合意しましたので、お知らせいたします。なお、今回の追加権益譲渡は、オーストラリア政府の承認を含む権益譲渡契約上の先行条件の充足が契約発効のための条件となります。

^(*)本プロジェクト権益は以下を含む：

1. WA-50-L鉱区（イクシスガス・コンデンセート田を含む）およびWA-51-L鉱区権益
2. WA-285-P鉱区（WA-50-L鉱区に隣接する探鉱エリア）権益
3. ガスパイプラインおよび下流液化施設等を保有し、液化・販売等を実施する下流事業会社であるイクシスLNG社の株式

当社とトータル社は、当社事業活動の中核的地位を占めるインドネシアの東カリマンタン・マハカム沖鉱区における原油・天然ガスの開発・生産事業をはじめとして、世界各地で多数の石油・天然ガスの探鉱・開発・生産プロジェクトを共同して推進しており、パートナーとして良好な関係を構築しています。また、トータル社は2006年より本プロジェクトに24%の権益比率で参画しており、トータル社のLNGプロジェクトに関する技術的知見や操業経験の共有等、本プロジェクトの推進に大きく貢献をしてきています。今回トータル社が追加権益を取得することは、同社の本プロジェクトへの一層のコミットメントを表すものであり、当社とトータル社とのパートナーとしての協力関係が一層深化することと

期待されます。

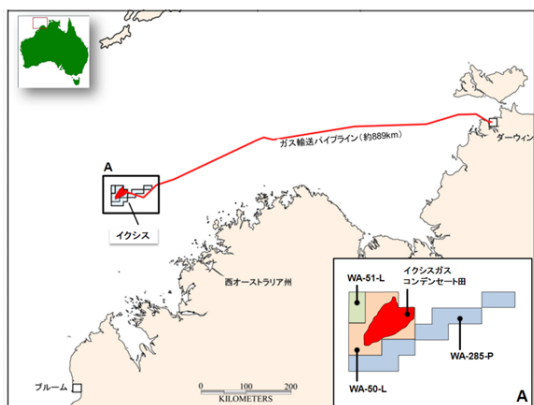
なお、既に公表しているとおり、当社は、大阪ガス株式会社（以下、大阪ガス）、東邦ガス株式会社（以下、東邦ガス）および東京ガス株式会社（以下、東京ガス）へ本プロジェクト権益を譲渡しております。また、中部電力株式会社（以下、中部電力）に対しても本プロジェクト権益の一部譲渡について合意し、現在豪州政府当局の承認手続き中です。今次トータル社との合意を含め、これらの手続きが完了した時点での本プロジェクトの権益保有比率は次のとおりとなります。

当社(オペレーター) :	66.070%	
トータル社 :	30.000%	(30%の内、今次合意の6%権益譲渡について豪州政府当局による承認手続き中)
東京ガス :	1.575%	
大阪ガス :	1.200%	
中部電力 :	0.735%	(豪州政府当局による承認手続き中)
東邦ガス :	0.420%	

当社は、本プロジェクトに関係する地域コミュニティを始め、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府等のオーストラリア政府関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、本プロジェクトを遂行してまいります。

なお、本譲渡による連結業績への影響については、オーストラリア政府の承認および権益譲渡契約上の先行条件の充足が契約発効のための条件となっているため、当期の業績に反映されるかどうか未確定となっておりますことから、平成 24 年 5 月 10 日公表の決算短信に記載の平成 25 年 3 月期の通期連結業績予想の数値は現時点で据え置いております。本譲渡が完了した段階で、業績への影響も含めて、改めて開示することといたします。

以上



イクシス LNG プロジェクトロケーション



オーストラリア ダーウィンにおける液化天然ガス (LNG) プラント建設イメージ図